

令和元年度 第4回 海老名市社会教育委員会議内容

日時：令和2年1月7日（火）

14：00～16：00

場所：えびなこどもセンター201会議室

【出席者】

委員	井出 操、植松 慶子、加藤 秀夫、栗山 明郎、三部 雅世、森田 壽、山田 信江
事務局	伊藤教育長、伊藤部長、萩原次長、外村課長、山田課長補佐、小菌主幹、橋本主任主事

【議事】

(1) 社会教育計画の策定について

事務局から説明

～質疑応答～

委員：パブリックコメントの件数が少ないことが残念である。

事務局：どの事業のパブリックコメントも少ない傾向がある。

委員：社会教育計画の周知という点で、対象団体への周知は進んでいるのか。

事務局：PTA や校長会など、着手できるところから周知を始めている。今後は各団体の総会などに出席させていただくなどして、社会教育計画の周知を行いたい。

委員：対象団体の一覧は、抜けている団体や精査されていない団体があると思われる。

事務局：まだ調査を行っていない段階である。まずは、学び支援課及び教育委員会で所管・関係する団体から拾っていく。市民協働や福祉の団体も今後調査を行っていく。

委員：社会教育デーは、地域ごとのイベントを調査し参考にしたいほうが良い。子どもと親が参加しているイベントが多くある。

委員：市全体で社会教育デーを実施すると、各小中学校では収まりきらない可能性がある。小中学校区ごとの地域だけでも、キャパシティーとして限界を感じることもありうる。

委員：地域のイベントの中で、普段体験できないことを子どもに体験していただく喜んでいただけることが多くある。そういったものをどのような形で社会教育デーに取り込んでいくのかを検討する必要がある。

委員：社会教育団体のしおりは良い取り組みになる。何かをやりたいと思ったときにそのしおりを見ることで、自分の取り組みたいことを行っている団体がすぐ見つかるようになる。今まではそういう取り組みがなかった。

事務局：まずは、対象団体の調査から始めることになる。社会教育委員の方々にもお手伝いいただき、対象団体の洗い出しを行う。その後に各団体への照会をかけて、団体の活動内容や活動時間、大きなイベントなどの情報を集め、社会教育団体のしおりを作りたい。

委員：社会教育団体の大きなところとして、ゆめクラブもあるのではないか。また、連絡協議会だけでなく、その枝の団体ごととなるはず。例えば、体育協会は、各競技で団体となっている。そのあたりも整理していかなくてはいけない。

事務局：調査やしおりの作成などは来年度から始めることになる。